

米国環境保護庁
ワシントン D.C.20460

大気放射局

2012年8月23日

コンピュータサーバー製造事業者またはその他関係者各位：

米国環境保護庁（EPA）は、添付のENERGY STAR®コンピュータサーバー基準バージョン2.0の**第3草案**に対する意見を歓迎する。本第3草案に関する意見の提出期限は**2012年9月28日**である。

第3草案には、EPAによるデータ収集の取り組みにおいて入手した情報、および製品群（ファミリー）構成やブレードサーバー試験条件などの課題に関する関係者との協議において受け取った意見が取り入れられている。この間EPAは、サーバー効率評価ツール（SERT：Server Efficiency Rating Tool）策定会議に定期的に参加してきたが、本基準の最終草案に向け作業を進めると共に、本基準のSERT関連部分を詳細に策定していく予定である。コンピュータサーバー基準バージョン2.0における測定と報告にSERTが必要になることから、EPAは、本件について関心のある関係者に対して、SERTベータ-2の取り組みに参加することを奨励する。SERTベータ-2プログラムに関する詳細情報および参加登録については、www.spec.org/sert/を参照すること。

以下は、本基準の第3草案における主な内容の一部である。

- **第1章**：定義の大部分は第2草案に示されていたものを反映している。コンピュータサーバーの定義が更に修正された。
 - 新たな定義が回復性（resilient）サーバーおよび高性能コンピュータシステムについて提案されている。またEPAは、第2草案におけるストレージ機器の定義を、現在策定中のENERGY STARデータセンター用ストレージ基準における定義と一致するストレージ製品定義に置き換えた。
- **第2.1節**：EPAは、多重ノードサーバーがバージョン2.0の対象範囲内であることを明確にした。またEPAは、高性能コンピュータシステムと大型サーバーの定義を追加し、これら製品を本基準の対象外にすることを提案している。
- **第3.2節**：電源装置効率および力率の要件は、第2草案に記載されているものと一致している。本節の文言は、既存のブレードサーバー電源装置要件に多重ノードサーバーが含まれていることを示すように修正された。
- **第3.4節**：EPAは、ブレードサーバー出荷時文書に関して、印刷形式で製品と同梱される代わりに、パートナーのウェブサイト上に電子形式で提供してもよいことを明確にした。
- **第3.6節～第3.8節**：アイドルモードおよび全負荷時に関して、EPAは、すべての基本アイドル時消費電力許容値を8W低減し、またシステムにおけるすべてのハードドライブに対してハードドライブ追加許容値を適用させる予定である。さらにEPAは、各追加電源装置に対して20Wの追加許容値を提案している。第3.8節には、半数装着ブレード筐体の試験を義務付け、追加の選択肢として全数装着ブレード筐体の試験結果の提出を認めるという、ブレードサーバーの試験条件を定める新たな文言が含まれている。
- **第3.9節**：グラフィック処理装置（GPGPU：general purpose computing on graphical processing units）に対する既存の要件は、第3.9節に定義されているように、すべての補助的処理加速装置（APA：Auxiliary Processing Accelerator）に適用されるように修正された。追加試験の検討がこれら製品について追加され、すべての搭載APAに対する総アイドル時消費電力基準値は46Wに設定された。この基準値は、ワークステーション/コンピュータ空間における全機能GPU（fully-featured GPU）の消費電力データから算出された。

- **第4章**：EPAは、消費電力と性能のデータシート（PPDS：Power and Performance Datasheet）の新たな電子様式を、バージョン2.0の確定前までに策定するよう引き続き取り組む。本基準書と共に、バージョン2.0データ収集用エクセル様式の修正版が公表されている。EPAは、このPPDSのデータ収集に対する変更案について意見を歓迎する。さらにEPAは、所要のSERTデータ以外の他のベンチマークによる消費電力および性能の追加データに関する要件については、削除することを提案している。
- **第5章**：EPAは、時間刻印（タイムスタンプ）を問題無く実施するシステムに対し、データ報告頻度要件において追加的な柔軟性を与えることを提案している。
- **試験方法**：今回の配信には別紙による試験方法が含まれている。本書は、データ収集に関する文書と共に配信された前回の試験方法に基づいている。直流給電サーバーは試験方法から削除された。DOEは、三相電源装置を有するサーバーの試験方法を追加することに関して、関係者の意見を求めている。さらにDOEは、アイドルモード動作時に開始するメモリの消去や他の保全周期に関して、例えばこれら動作によるアイドルモード消費電力への影響についての説明、これら動作の継続時間と頻度、および本分析を助ける既存データなどの関係者からの意見を求めている。

上記の変更に関するEPAの論理的根拠の詳細は、該当文書において注記枠に示されている。

意見の提出

すべての関係者は、上記のとおり、**2012年9月28日**までに基準の第3草案に対する意見書を servers@energystar.gov宛に提出することが奨励される。提出者が自身の意見を非公開にすることを要求しない限り、すべての意見は、ENERGY STAR基準策定ウェブサイト（Product Development website）に掲載される予定である。第3草案における特定の部分を支持する場合には、意見書にその旨を示すこと。追加修正が必要と思われる部分を特定することだけでなく、基準草案のどの部分が関係者の賛同を得ているのかをEPAが理解することは等しく重要である。

ENERGY STARプログラムへの継続的な支援に感謝する。関係者の参加は、有意義な基準の策定およびENERGY STAR全体の成功にとって不可欠である。本基準に関する具体的な質問については、EPAのRJ Meyers (Meyers.Robert@epa.govまたは202-343-9923) または、ICF InternationalのJohn Clinger (John.Clinger@icfi.comまたは202-572-9432) に連絡すること。試験方法に関する質問については、DOEのBryan Berringer (Bryan.Berringer@ee.doe.govまたは202-586-0371) に連絡すること。

Sincerely,

Robert Meyers
Product Manager, ENERGY STAR Computer Servers